

開設年度	開設学部	開設学期	授業区分	担当教員	対象学年	授業科目番号	単位数
	東アジア研究科	前期/後期	演習	松岡勝彦	1/2/3		1
授業科目名	特別研究(特別研究1)						
英文名	Dissertation Supervision(Dissertation Supervision 1)						
使用言語	日本語						
一般目標	応用行動分析、行動コンサルテーション、行動コミュニティ心理学等の領域における研究について、博士論文作成に向けた大まかな方向性を把握することができる。						
授業の到達目標	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究計画の立案、研究の実施、評価、その他に渡って、研究者としてあるべき基本的な姿勢・態度を取ることができる						
授業の方法	応用行動分析、行動コンサルテーション、行動コミュニティ心理学等の領域における研究について、受講生の研究テーマに沿って、ディスカッションを中心に授業を行う。						
授業計画	第1回	授業の進め方等について、オリエンテーションを行う。					
	第2回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。					
	第3回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。					
	第4回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。					
	第5回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。					
	第6回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。					
	第7回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。					
	第8回	これまでに進めた研究についてまとめ、学会発表、学術論文投稿など、今後の計画について話し合う。					
成績評価基準	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究計画の立案、研究の実施、評価、その他に渡って、総合的に評価します。						

開設年度	開設学部	開設学期	授業区分	担当教員	対象学年	授業科目番号	単位数
	東アジア研究科	後期	演習		1/2/3		1
授業科目名	特別研究(特別研究2)						

英文名	Dissertation Supervision(Dissertation Supervision 2)	
使用言語	日本語	
一般目標	応用行動分析、行動コンサルテーション、行動コミュニティ心理学等の領域における研究について、博士論文作成に向けた大まかな方向性を把握することができる。	
授業の到達目標	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究計画の立案、研究の実施、評価、その他に渡って、研究者としてあるべき基本的な姿勢・態度を取ることができる	
授業の方法	応用行動分析、行動コンサルテーション、行動コミュニティ心理学等の領域における研究について、受講生の研究テーマに沿って、ディスカッションを中心に授業を行う。	
授業計画	第1回	授業の進め方等について、オリエンテーションを行う。
	第2回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。
	第3回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。
	第4回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。
	第5回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。
	第6回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。
	第7回	受講生が行っている研究がどの程度進んでいるのかの確認、相談、助言など。
	第8回	これまでに進めた研究についてまとめ、学会発表、学術論文投稿など、今後の計画について話し合う。
成績評価基準	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究計画の立案、研究の実施、評価、その他に渡って、総合的に評価します。	